

# 福井県民生活協同組合 サステナビリティレポート2020

~No one will be left behind~



**COOP 県民せいきょう**

福井県民生活協同組合 〒910-8557 福井市開発5丁目1603番地

お問い合わせ  
コールセンター

おかけ間違いがないように、番号をお確かめください。

**0120-016-165**

【受付時間】月～金曜日/午前8時30分～午後8時 土曜日/午前9時～午後5時  
※受付時間外は、音声ガイドにて、お問い合わせの受付と、緊急時の連絡先をご案内しています。



この製品は、適切に管理されたFSC®認証林からの原材料および再生資源から作られています。



環境に配慮した植物油インキを使用しています。

●ホームページ

県民せいきょう 検索



県民せいきょう Facebook



動画でも福井県民生協のSDGsの取り組みを紹介しています。



**COOP 県民せいきょう**

# ごあいさつ



理事長  
竹生 正人

2019年度は、あわら市では初の事業所となる金津きらめきの開設、ハーツつるがの改装、岡保きらめきのグループホーム増設などを進めるとともに、池田町との地域見守り協定の締結、鯖江市との包括連携協定の締結、JAとの食事宅配事業提携開始など、地域との連携がさらに前進した一年でした。また、念願であった社会福祉法人『きらめき福祉会』が設立され、県民せいきょうの歴史に新たなページを加えることができました。活動においても、フードバンク、フードドライブの取り組みの推進など、地域支援の取り組みを進めることができました。組合員のみなさまのご支援、ご協力に心より感謝を申し上げる次第です。

今年のスローガンは「感謝と挑戦で共に未来を創る」です。今年は、鯖江市において特別養護老人ホームの開設を進めてまいります。また、SDGsの推進を柱に地域のさまざまな団体との連携で持続可能な社会づくりに貢献してまいります。さらに、人口減少・超高齢化・デジタル化の進展など環境の変化を見据えて、県民せいきょうの2030年ビジョンと次期中期計画の策定に取り組んでまいります。新型コロナウイルスについては長期的な感染防止対策に引き続き万全を尽くしていきます。

2020年度も、「組合員の満足と地域社会のために」役職員一同まい進する所存です。

## 目次

- ・ 理念・ビジョン、県民せいきょう概要、2020年度 役員 .....3
- ・ 県民せいきょうの事業 .....4
- ・ 県民せいきょうのSDGs .....6
- ・ 2019年度トピックス .....7
- ・ 01 産直・地産地消 ～地域と進める商品作り～ .....8
- ・ 02 ふくいレインボーファーム ～つくる、つなぐ、まなぶを通じて福井の元気づくりに貢献～ .....9
- ・ 03 エシカル消費 ～誰かの笑顔につながるお買い物～ .....10
- ・ 04 食の安全・安心の取り組み ～食の安全・安心～ .....12
- ・ 05 組合員の声 ～組合員の声を生かす～ .....13
- ・ 06 介護事業・高齢者福祉 ～あなたらしさいつまでも～ .....14
- ・ 07 地域見守り・助け合い ～みんなが安心して暮らせる地域づくり～ .....15
- ・ 08 生活支援 ～あなたの地域にハーツがやってくる～ .....16
- ・ 09 組合員活動 ～もつと広がれ組合員の輪～ .....18
- ・ 10 災害支援 BCP対策 ～つながろう CO・OPアクション～ .....19
- ・ 11 地球温暖化対策・エネルギー対策 ～温室効果ガス削減計画～ .....20
- ・ 12 3Rの推進 ～循環型社会の構築に向けて～ .....21
- ・ 13 働きやすい職場環境づくり ～仕事と家庭を両立しながら、職員がイキイキと働ける職場に～ .....22
- ・ 14 人材育成 ～職員がイキイキと働き続けることができる組織づくりへ～ .....24
- ・ 15 新型コロナ対応 働き方改革 ～新しい生活様式に対応した働き方～ .....25
- ・ 16 地域へのお役立ち ～地域とのつながりを大切に安全・安心な地域づくりを応援～ .....26

# 理念・ビジョン

## 第9次中期計画（2015年～2020年）

**理念**  
組合員の満足と地域社会のために

**スローガン**  
「感謝と挑戦で共に未来を創る」

**使命**  
食の安全とくらしの安心で組合員へのお役立ち

**目指す理想的な姿**  
「食と福祉と助け合い」の事業と活動と地域のネットワークによるシナジー効果を発揮し、健康長寿で安全・安心な福井づくりに、組合員と職員、地域との協力の力で高い志を持って挑戦し続ける

**大切にしたい組合員価値**  
「安全・安心」「参加・参画」「お役立ち」「安定した経営」

## 市町別組合員数と世帯加入率

県内世帯加入率が55.0%になりました。現在、福井市・坂井市・鯖江市・越前市・越前町・南越前町・敦賀市・小浜市・美浜町・若狭町では、地域の過半数(2世帯に1世帯)の方が加入されています。

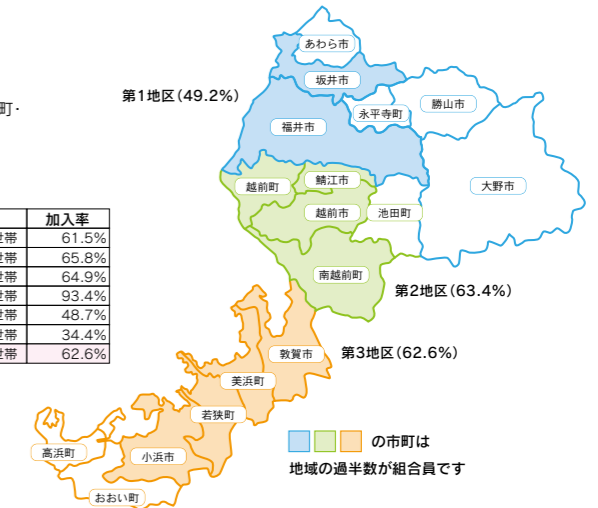
福井県全体	組合員数	世帯数	加入率
	159,436人	289,357世帯	55.1%

	組合員数	世帯数	加入率
福井市	55,095人	104,176世帯	52.9%
あわら市	3,808人	9,941世帯	38.3%
坂井市	16,047人	30,873世帯	52.0%
大野市	3,674人	10,720世帯	34.3%
勝山市	2,492人	7,598世帯	32.8%
永平寺町	2,949人	7,424世帯	39.7%
第1地区計	84,065人	170,732世帯	49.2%

	組合員数	世帯数	加入率
敦賀市	16,708人	27,149世帯	61.5%
小浜市	7,518人	11,422世帯	65.8%
美浜町	2,480人	3,823世帯	64.9%
若狭町	4,467人	4,783世帯	93.4%
おおい町	1,583人	3,251世帯	48.7%
高浜町	1,482人	4,305世帯	34.4%
第3地区計	34,238人	54,733世帯	62.6%

	組合員数	世帯数	加入率
鯖江市	17,788人	23,910世帯	74.4%
越前市	16,465人	29,366世帯	56.1%
越前町	4,065人	6,505世帯	62.5%
池田町	419人	842世帯	49.8%
南越前町	1,740人	3,269世帯	53.2%
第2地区計	40,477人	63,892世帯	63.4%

※左記以外に県外在住の組合員が656人いらっしゃいます。  
(組合員数(人):2020年3月31日現在  
世帯数(世帯):2020年4月1日現在)



## 県民せいきょう概要

### 事業報告

#### 2019年度実績

	実績	前年比
組合員数	159,436人	101.6%
出資金	94億8,618万円	100.9%
総事業高	239億5,929万円	100.8%
事業高	宅配事業	116億9,021万円 98.2%
	店舗事業	99億7,554万円 103.9%
	福祉事業	介護福祉事業 19億3,770万円 101.4%
	子育て支援事業 1億2,863万円 101.5%	
共済事業	2億2,719万円 102.5%	
共済保有件数※	68,634件	99.0%
経常剰余金	2億3,241万円	163.3%

#### 2020年度計画

	計画	前年比
組合員数	160,500人	100.7%
出資金	95億7,000万円	100.9%
総事業高	241億6,500万円	100.9%
事業高	宅配事業	117億2,800万円 100.3%
	店舗事業	99億3,500万円 99.6%
	福祉事業	介護福祉事業 21億5,100万円 111.0%
	子育て支援事業 1億1,700万円 91.0%	
共済事業	2億3,400万円 103.0%	
共済保有件数※	69,500件	101.3%
経常剰余金	1億5,000万円	64.5%

※1万円未満は切り捨てています。  
※共済の保有件数は、たすけあい、あいがらす、ずつとあい(終身)の合計です。

## 2020年度 役員

	氏名	備考
常勤	代表理事 理事長	竹生 正人 生活協同組合連合会コープ北陸事業連合 理事長 福井県生活協同組合連合会 会長理事 公益社団法人 ふくいくらしの研究所 理事長 日本コープ共済生活協同組合連合会 理事 社会福祉法人 きらめき福祉会 理事長
	代表理事 専務理事	松宮 幹雄 エルシーコープ株式会社 代表取締役 一般社団法人 ほのほのハーツ 代表理事
	常務理事	中川 敦士 株式会社コープサービス福井 代表取締役 コンビニハーツ株式会社 代表取締役
	常務理事	広辻 光生 エルシーコープ株式会社 取締役 ふくいレインボーファーム株式会社 取締役
非常勤	理事	檜原 弘樹 生活協同組合連合会コープ北陸事業連合 専務理事
		今村 善孝 大電産株式会社 代表取締役会長
		南保 勝 福井県立大学 地域経済研究所 所長・教授
		小林 正能 元県職員
		山本 道隆 株式会社福井新聞社 常務取締役 営業統括本部長 営業局長
		田中 仁和 元県職員、薬剤師
		岩佐 裕美 弁護士
監事	理事	小林 一 福井県労働者福祉協議会 事務局長
		酒井 智吉 ふくい農林水産支援センター 理事長
		松ヶ平 朝菜 一般社団法人 福井県介護福祉士会 事務局長
		五島 典子 第1地区/坂井エリア
		濱田 昭子 第1地区/坂井エリア
		朝日 亮子 第1地区/奥越エリア
		山田 久美 第1地区/福井エリア
		浮田 京子 第1地区/福井エリア
		野路 直美 第1地区/福井エリア
		吉田 克己 第2地区
		加賀谷 幸恵 第2地区
		笹原 麻子 第3地区/敦賀エリア
	藤原 真理 第3地区/若狭エリア	
	中山 茜弥 公認会計士、税理士	
	寺西 道江 第1地区/奥越エリア	
	森永 美保 第1地区/福井エリア	
	岩坂 知美 第2地区	
	浜本 良美 第3地区/敦賀エリア	

# 県民せい きょうの事業

## コープの宅配

カタログでご注文いただいた商品を週1回、決まった曜日に、ご自宅やご指定の場所にお届けします。安全・安心なコープ商品を中心とした生協こだわりの商品(食品・衣料・雑貨など)を豊富に品揃え。福井県全域での組合員にご利用いただいております。



移動店舗  
ハーツ便

レインボー  
ファーム

高齢者介護施設  
きらめき

食事宅配

お買い物  
バス

宅配サービス  
コープの宅配

買い物代行  
ハーツの  
おつかいさん

子育て支援施設  
ハーツ  
きっず

生協のお店  
ハーツ

CO-OP共済

## 店舗 ハーツ

県内に11店舗ある「ハーツ」、健康長寿と家族団らんを応援するお店です。こだわりのコープ商品、地場や産直の新鮮品など安全・安心な品揃え。リサイクルステーションや、町内会の集まりなどにご利用いただける集会所など、地域に貢献できるお店をめざしています。



## 生活支援

普段の買物や食事作りに困っている方のために県内13台の移動店舗「ハーツ便」が高齢化集落や中山間地、市街地での買い物支援に、買い物代行「ハーツのおつかいさん」では、ハーツの食品やお弁当をご自宅までお届けします。他にもお買い物バスや食事宅配など、毎日の食を生協が支えます。



## CO-OP共済

CO-OP共済は「組合員どうし困ったときは助け合いたい」という気持ちから生まれた保障です。組合員1人ひとりの力が集まって大きなすけあいの輪が広がっています。お手頃な掛金で、医療保障や一生涯安心の終身共済などニーズに合わせてお選びいただけます。



## 高齢者福祉 きらめき

いつまでも自分らしく、住み慣れた地域で安心して暮らしたい。そんな願いを応援する、せいきょうの高齢者介護サービス。県内に13カ所ある介護施設で、訪問介護やデイサービス、小規模多機能型居宅介護、グループホーム、サービス付高齢者向け住宅など、ご希望や状態に応じたサービスがご利用いただけます。



## 子育て支援 ハーツきっず

ご家族の皆さんが「自分らしく」「安心して」、笑顔で子育てできる環境づくりに取り組んでいます。通院時などに便利な一時預かり、ママ・パパ同士の交流も楽しい子育てひろば、入園前の準備として2歳児のプレ保育がご利用いただけます。県内6カ所の施設に加え、ハーツきっず児童クラブを福井市内に3カ所開設しています。



## 組織概要

### ■事業概要 (2020年4月現在)

宅配事業(配送センター:4 嶺北センター、丹南支所、敦賀支所、若狭支所)  
店舗事業(店舗:11 ハーツはるえ、ハーツ羽水、ハーツ学園、ハーツ志比口、ハーツさばえ、ハーツ神中、ハーツたけふ、ハーツつが、ハーツ三方五湖、ハーツわかさ、ファミリーマート+ハーツ河野北前船主通り(コンビニハーツ))  
生活支援事業(移動販売車:13 第1地区本部5台、第2地区本部4台、第3地区本部4台)  
高齢者介護事業(介護事業所:13 坂井きらめき、大野きらめき、勝山きらめき、羽水きらめき、宝永きらめき、江守きらめき、岡保きらめき、鯖江きらめき、丹南きらめき、敦賀きらめき、小浜きらめき、鮎川きらめき、金津きらめき)  
子育て支援事業(子育て支援施設:9 ハーツきっずはるえ、ハーツきっず羽水、ハーツきっず学園、ハーツきっず志比口、ハーツきっずさばえ、ハーツきっずたけふ、ハーツきっず湊児童クラブ、ハーツきっず日之出児童クラブ、ハーツきっず啓蒙児童クラブ)

### 共済事業

### ■職員数 (2019年度末)

1,620名  
(正規職員277名、キャリア職員101名  
定時職員656名、N職員121名  
アルバイト職員465名)

### ■グループ会社

エルシーコープ株式会社  
株式会社コープサービス福井  
ふくいレインボーファーム株式会社  
株式会社ケア・サービス・アイ  
コンビニハーツ株式会社

### ■関係団体

日本生活協同組合連合会  
日本コープ共済生活協同組合連合会  
コープ北陸事業連合  
福井県生活協同組合連合会  
一般社団法人ほのぼのハーツ  
社会福祉法人 きらめき福祉会  
公益社団法人 ふくい・くらしの研究所  
福井虹の会  
福井県産直協議会

# 福井県民生活協同組合は SDGs (持続可能な開発目標) の達成のための取り組みを推進していきます



県民せいきょうは、「組合員の満足と地域社会のために」という基本理念のもと、健康長寿で安全・安心な福井づくりに、組合員と職員、地域との協力の力で取り組んできました。誰ひとり取り残さないというSDGsの目指す姿は、生協の理念と重なります。経済成長、社会的包摂、環境保護の3つの主要素を調和させながら、SDGsの17の目標を、県民せいきょうが取り組む事業や活動に重ね、持続可能な社会を福井の地で構築していくことを目指していきます。



## 「コープSDGs行動宣言」7つの取り組み

日本生協連では、2018年6月15日に開催された第68回日本生協連通常総会にて「コープSDGs行動宣言」を採択しました。「持続可能な開発目標 (SDGs)」について、生活協同組合もその一端を担うべく、7つの取り組みを通じてその実現に貢献することを約束する行動宣言です。県民せいきょうも「コープSDGs行動宣言」の7つの取り組みを通じて、引き続き持続可能な社会の実現をめざします。

持続可能な生産と消費のために、商品とくらしのあり方を見直していきます



地球温暖化対策を推進し、再生可能エネルギーを利用・普及します



世界から飢餓や貧困をなくし、子どもたちを支援する活動を推進します



核兵器廃絶と世界平和の実現をめざす活動を推進します



ジェンダー平等 (男女平等) と多様な人々が共生できる社会づくりを推進します



誰もが安心して暮らし続けられる地域社会づくりに参加します



健康づくりの取り組みを広げ、福祉事業・助け合い活動を進めます



## 2019年度トピックス

県民せいきょうのできごと	
4月	  <p><b>岡保きらめき増床</b> 2013年に開所した岡保きらめき (福井市曾万布町) のグループホームを増床しました。また、コミュニティスペースにオープンキッチンを設置しました。</p>
5月	<p><b>春の地区総代会議</b> 県内4会場で地区総代会議を開催し、6月の通常総代会に向けて活発な論議が行われました。</p>
6月	<p><b>ボランティア応援企業 (団体) 継続認証受賞</b> 福井県企業ボランティア応援企業・社会貢献連絡会 (通称:Fパネット) の「ボランティア応援企業 (団体)」として認定を受け、10年間活動に取り組んできたことで表彰されました。</p> <p><b>第41回通常総代会</b> 2019年度事業計画など4議案全てが賛成多数で可決承認されました。</p>
7月	 <p><b>エルシーコープカタログセットセンター竣工</b> 福井市新保に、宅配のカタログを丁合するエルシーコープカタログセットセンターを新設し、7月24日に竣工式を行いました。</p>  <p><b>みやぎ親子スタディツアー</b> 東日本大震災支援企画として、みやぎ親子スタディツアーを実施し、仮設住宅のサロンで交流、語り部の話を聞きました。</p>
8月 9月	 <p><b>包括連携協定調印式</b> 鯖江市と、SDGsや女性活躍の推進、高齢者の福祉事業の向上などの項目で包括連携協定を締結しました。</p>  <p><b>鯖江市と包括連携協定</b> 鯖江市より社会福祉法人設立認可を受けて、9月11日に社会福祉法人「きらめき福祉会」を設立しました。また、地域住民や組合員による設立準備委員会を立ち上げ、地域に根ざした施設になるよう協議しました。</p>
10月	 <p><b>ハーツつるがリニューアルオープン</b> オープンから17年目となるハーツつるがをリニューアルオープンしました。</p> <p><b>秋の地区総代会議</b> 県内4会場で地区総代会議を開催。2019年度上期の振り返りと下期の方針説明、新産直牛「九州黒牛 (黒毛和種×乳用種)」の学習を行いました。</p>
11月 12月	 <p><b>令和元年東日本台風 (台風第19号) 災害支援</b> 10月関東・甲信・東北地方などで記録的な大雨となり甚大な被害をもたらしました。当生協では、ハーツ店頭や宅配で募金を呼びかけ寄せられた795万円を共同募金会等を通じて被災地に届けました。また、長野市と特別老人ホーム (栃木県) に、職員4人が支援活動を行いました。</p>
1月 2月 3月	<p><b>畜産 PC (バックセンター) の改装</b> 新規出店に備えて施設製造能力の向上と、需要が高まるお肉、惣菜の原料製造、サラダチキンやローストビーフ、ローストポークなどの製造を開始しました。</p> <p><b>ハーツさばえリニューアル</b> お酒売場の改装や店内のコミュニティスペースの改装などを行い、買物がしやすい売場づくりを目指しました。</p> <p><b>「福井働きたい企業5選」に選定</b> 県立大学経営学科の学生が、学生の視点で県内の働きたい企業を調査、評価した「福井働きたい企業5選」の「女性活躍賞」として、女性管理職比率が全国平均より高く、育休と介護休業に独自制度のあることを理由に当生協が選ばれました。</p>  <p><b>金津きらめき 開所</b> あわら市では初めての事業所となる金津きらめきの開所式を開催しました。これにより県内全市で高齢者介護事業を展開する体制が整いました。</p> <p><b>福祉避難所設置運営に関する協定締結</b> 大野きらめきが、3月30日に大野市と「災害発生時における福祉避難所設置運営に関する協定」を締結しました。</p>



生協の産直は、食の安全を願う組合員と生産者、生協がそれぞれの立場から「生産・利用・交流」を通じて、「ともに育てあう」活動です。県内外の産直生産者と組合員、生協で産直協議会を運営し、安全・安心な食料確保、地産地消、食料自給率向上、環境安全、資源循環など、食と農をつないで豊かな地域社会をつくることをめざしています。

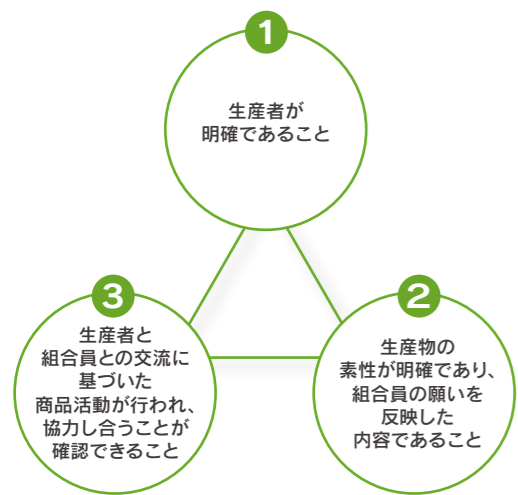


「ふくいレインボーファーム」は、安全・安心で新鮮な農産物を提供することを目的とし、2016年1月に設立した生協農場です。地域と連携を図りながら、県内の農業活性化をめざし、地産地消推進や耕作放棄地解消などに取り組んでいます。現在、あわら市で露地園芸、敦賀市で米づくり、施設園芸、みかん栽培を行っています。



産直・地産地消

県民せいきょうの産直三原則



産直生産者・団体数  
(福井県:60)  
(県外 :18)



	18年度	19年度	前年比
産直比率(宅配)	32.8%	31.8%	97.0%
産直比率(店舗)※農産	22.8%	28.0%	122.8%
地産比率	19.4%	18.1%	93.3%



▲信州ハーツの一株ぶなしめじ

農業体験や食育活動

新人職員や、店長研修、大学ゼミを通じた学習のほか、産直協議会など組合員活動での農業体験・見学の受け入れを行っています。また、レインボーファーム応援団を結成し、組合員の皆さんと共に農作業に取り組んでいます。

	18年度	19年度	前年比
レインボーファーム応援団登録人数	103人	111人	107.8%



福井初 **グローバルGAP 個別認証を取得**

適切で効率的な農場管理を実践するための手法で以下の4つを柱として管理点が定められています。

- 1 安全な農作物の生産と出荷
- 2 作業者の労働安全と福祉の確保
- 3 信頼できる販売管理
- 4 環境へ配慮した生産活動

グローバルGAP認証は、食品安全、労働環境、環境保全に配慮した「持続的な生産活動」を実践する農業者に与えられる事業ブランドです。2017年11月に、福井県内の農業法人では初めて、キャベツ、みかん、米の3品目にてグローバルGAPの個別認証を取得しました。



現地審査の様子▶

【登録番号】  
4059883205336  
【認定登録日】  
2017年11月20日  
【有効期間】  
2019年11月17日～2020年11月16日  
【認証作物】  
米・キャベツ・みかん

産直協議会の産直交流

産直協議会では、産地見学や出前講座などを通して、生産者と組合員の交流を積極的に行っています。2019年度は、各地区の産直協議会が主体となった交流活動にのべ3,513人の組合員が参加しました。各地域の生産者の声やこだわり、苦労など、生の声を聞くことで商品のファンになり、生産者の顔が見える関係づくりにつながっています。



▲永平寺やさい村で新玉ねぎ収穫体験(第1地区)



▲あさひ愛農園の麺のお話(第2地区)



▲渡辺農園もぎ体験(第3地区)

JAとの交流

協同組合間連携の取り組みとしてJA福井県女性組織協議会フレッシュミズ部会との交流会を行いました。



▲JAと生協がつながる交流会

食品加工センター

地産地消をさらに推進するために、JA福井県経済連と連携して、福井県産の農作物を使用した惣菜や弁当の製造を行う、食品加工センターを、2018年4月より稼働しました。

食品加工センターでは、野菜の加工や食材セットパバツとCOOK、食事宅配の弁当、ハーツの惣菜を製造しています。衛生管理も徹底しており、原料受け入れから商品出荷までの各工程で、食中毒などの危害を未然に防止する取り組みを行っています。2018年7月には、福井県版HACCPの認証を取得しました。





生協では、「地域」「社会」「環境」「人々」に配慮してモノやサービスを買うことを「エシカルなお買い物」と表現して、積極的に応援しています。6月と10月をエシカル消費月間と位置づけ、誰かの笑顔につながるお買物を推進しています。



### 6月エシカル消費「環境」月間

6月環境月間には、ハーツでエシカルキャンペーンを展開し、Instagramにコープのエシカル消費対象商品を投稿する取り組みを行いました。組合員に身近な商品が環境に配慮されている商品であることと、エシカルの考え方について紹介しました。

**FSC® 森の資源を守る**

FSCの認証を受けた商品は、森林を守る基準に沿って森林を管理し、その森林の木で作られた商品を森から家庭まで確実に届ける管理をしています。

**レインフォレスト・アライアンス認証**

地球環境保全のために熱帯雨林を維持することを目的としています。SAN(サステナブル・アグリカルチャー・ネットワーク:持続可能な農業ネットワーク)の定める基準に基づいて認証されます。

**MSC認証(海のエコラベル)**

海の資源を枯渇させないよう、漁獲量や漁法・漁の時期・生態系などに配慮した漁業で獲れた水産製品です。

**いのちの森商品 (KEEP THE GREEN マングローブ植樹活動)**

インドネシア産ブラックタイガーの産地で、自然環境保全・持続可能な養殖事業をめざし、マングローブの植樹活動を行う取り組みです。

6月の環境月間にマングローブ植樹を応援する支援を行い、商品1点の購入につき1円を寄付しました。

■エシカル消費月間(環境月間)実績 単位(千円)

	宅配			店舗			全体		
	18年実績	19年実績	前年比	18年実績	19年実績	前年比	18年実績	19年実績	前年比
MSC商品	2,306	1,911	82.9%	336	978	291.1%	2,642	2,889	109.3%
FSC商品	8,174	8,134	99.5%	1,670	2,465	147.6%	9,844	10,599	107.7%
レインフォレスト・アライアンス認証	610	988	162.0%	196	476	242.9%	806	1,464	181.6%
その他環境配慮商品	3,108	10,725	345.1%	911	679	74.5%	4,019	11,404	283.8%
<b>対象商品合計供給高</b>	<b>14,198</b>	<b>21,758</b>	<b>153.2%</b>	<b>3,113</b>	<b>4,598</b>	<b>147.7%</b>	<b>17,311</b>	<b>26,356</b>	<b>152.3%</b>

### 10月エシカル消費「社会貢献」月間

#### ピンクリボン運動

世界共通のピンクリボン月間である10月に合わせ、コープ化粧品で寄付を行いました。認定NPO法人J.POSH(日本乳がんピンクリボン運動)は全ての人に乳がん検査の必要性を啓発する団体です。コープ化粧品1品につき1円を日本乳がんピンクリボン運動として寄付し、J.POSHへの協賛を行いました。



ピンクリボンキャンペーンでは、職員と組合員に化粧品のマイスター「ビューティーアドバイザー」の育成を行い、職員・組合員30名が修了して登録を行いました。

### CO-OP×レッドカップキャンペーン WFP

対象の商品1品につき1円が、国連WFPを通じて飢餓に苦しむ子どもたちに学校給食を届けるために使われます。2017年度からカンボジア王国に支援を行っています。児童の栄養改善、就学率、出席率の向上及びカンボジア政府による自立した学校給食運営のための人材育成を目標とします。



©WFP/David Longstreath

### コアノンスマイルスクールプロジェクト

CO-OPコアノンロールシリーズ1パックの利用につき1円を、ユニセフを通じてアンゴラ共和国の「子どもにやさしい学校づくり」に寄付をしています。「人を育てる」「知識を伝える」ことを目的に教師を育成したり、「設備を整える」ことを目的に安全な水の整備やトイレの設置を行っています。



### SDGsゲーム(2030SDGs)を開催しました

SDGsの理解を深めるために、SDGsゲーム(2030SDGs)を11会場で行い、普及啓発を行いました。「経済」「環境」「社会」のバランスや、エシカル消費の価値などを学ぶ機会になりました。

2019年度 11回 441人参加





商品取り扱いの基本的な考え方は、組合員に対し「良品質の商品を提供すること」です。生協のPB(プライベートブランド)商品である「コープ商品」「産直商品」だけでなく、NB(ナショナルブランド)商品や市場手配の農産物についても仕様書や産地などを確認し、食品添加物使用基準にあった商品のみを取り扱っています。



- 1. 安全であること 2. 安心できる品質であること 3. 適正価格であること
- 4. 生鮮商品は新鮮であること 5. 暮らしの見直しや暮らしの助け合い、地域づくりに寄与する商品であること

コープ商品

日生協開発商品

全国の生協が加盟する日本生活協同組合連合会で開発しているコープ商品。

福井県民生協オリジナル商品

県民せいきょうが開発しているハーツオリジナル商品。

コープ北陸開発商品

北陸3県の生協が加盟するコープ北陸事業連合が開発しているコープ商品。

コープこうべ開発商品(コープス)

コープこうべが開発しているコープ商品。

安全確認業務(商品検査)

組合員に安心して商品をご利用いただくために、コープの宅配の新規商品やハーツ店内加工商品を中心に微生物検査、産直農産品を中心とした残留農薬検査を実施し、取り扱い商品の安全確認を行っています。

2019年度検査数

	検査数	主な検査商品
微生物検査	年間 8,638品	・ハーツ店内加工の惣菜・畜産・水産商品 ・コープの宅配の新規取り扱い商品など
残留農薬検査等	年間 129品	・福井県産直協議会生産者の農作物など

項目	18年度実績	19年度実績	前年比
商品検査数	8,941件	8,767件	98.1%
工場点検数	271件	179件	66.1%

HACCP 「福井県版HACCP(ハサップ)」の取り組み

原材料から製品、食事ができあがるまでの間の食品の安全を確保するための基準を定め、基準どおり製造されているかを確認・記録することで、食中毒や異物混入を未然に防止します。

ハーツ、ハーツ生鮮加工センター、きらめきにおいて「福井県版HACCP」認証を取得し、衛生管理レベルの向上に取り組んでいます。



福井県版HACCP認証数	
ハーツ	10店舗
ハーツ生鮮加工センター	1施設
きらめき(厨房施設)	8施設



組合員の声は生協の財産です。組合員や地域社会との積極的なコミュニケーションを図り、組合員からの声を毎日の業務に生かしています。組合員の声は、コールセンターで一元管理し、業務の点検と見直し、改善を行い、業務に反映しています。2019年度は12万8,914件の声が集まりました。



	18年度実績	19年度実績	前年比
コールセンター	125,491件	115,247件	91.8%
ひとことめも	2,815件	6,610件	234.8%
ハーツ私のこえ	704件	562件	79.8%
共済アンケート	617件	953件	154.5%
介護利用者の声	1,518件	1,376件	90.6%
子育て利用者の声	3,298件	1,109件	33.6%
地区・事業委員会の声	937件	940件	100.3%
総代通信おたより	151件	369件	244.4%
機関誌おたより	219件	194件	88.6%
その他	738件	1,554件	210.6%
<b>合計</b>	<b>136,488件</b>	<b>128,914件</b>	<b>94.5%</b>

	18年度実績	19年度実績	前年比
商品品質お申し出	3,672件	3,523件	95.9%
接客他お申し出	6,080件	4,888件	80.4%
良い声	5,316件	7,684件	144.5%
企画・品揃え要望	1,404件	1,191件	84.8%
意見要望	2,298件	2,463件	107.2%
問い合わせ	82,026件	76,099件	92.8%
地域の声	298件	505件	169.5%
その他	35,394件	32,561件	92.0%
<b>合計</b>	<b>136,488件</b>	<b>128,914件</b>	<b>94.5%</b>

総代会、地区総代会議、総代通信

組合員の代表である総代を対象に、総代会と年2回の地区総代会議を開催し、方針や、日頃の生協に対する声を聞き、方針に反映させています。総代には年2回総代アンケートを行い、重点方針の理解度や進捗に対する評価を受けています。



総代アンケートの声

- ・農産物の鮮度や品質改善への期待
- ・「金津きらめき」や「社会福祉法人の設立」など、高齢者介護サービスへの期待
- ・食事宅配やお買物バスや移動店舗ハーツ便等、生活支援サービス拡大への期待
- ・職員へのお褒めの言葉(現場の担当者への感謝の声)
- ・エシカル消費、フードバンク、フードドライブ、子ども食堂への支援などSDGsに関する取り組みへの評価
- ・宅配のチラシの量をもっと減らして欲しいという要望の声
- ・キャッシュレス払いへの迅速な対応への評価

これらの声は、総代の声として、方針などに展開していきます

宅配のクレジット決済導入

この間要望の高かった宅配のクレジット決済を2019年度より導入しました。宅配・店舗の利用とも5%の還元が受けられるように政府が必要標準化対策などを目的に実施するキャッシュレスポイント還元事業の加盟事業所として登録を行いました。



「あなたらしいままで」を福祉理念とし、高齢になっても住み慣れた地域で、安心して自分らしく暮らし続けられるように、介護保険サービスやさまざまな啓発活動・まちづくり活動を行っています。



### ■ 介護事業きらめき各サービス

サービス内容	施設数	サービス内容	施設数
居宅介護支援	8拠点	認知症対応型グループホーム	4拠点
デイサービス	6拠点	特定施設入居者生活介護(ケア付き有料老人ホーム)	2拠点
認知症対応型デイサービス	6拠点	サービス付き高齢者向け住宅(有料老人ホーム)	3拠点
ホームヘルプサービス	8拠点	福祉用具(レンタル・販売)・補聴器	13拠点
訪問看護サービス	1拠点	地域包括サブセンター(越前市)	1拠点
小規模多機能型居宅介護	10拠点	介護タクシー	2拠点
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1拠点	障がい福祉サービス(居宅介護・重度訪問介護)	2拠点

2020年4月、金津きらめきで小規模多機能型居宅介護とグループホームの事業を新たに開始しました。

### ■ 生協10の基本ケア

ご利用者自身による自分らしい暮らしの継続や生涯現役をサポートするため、きらめきでは、ご本人様の気持ちやケア指針10項目に沿って、環境整備や心身機能維持向上、社会参加などのお手伝いを行っています。病気や筋力・体力の低下にならない環境を整え、人の自然な動きを基本とした動作支援で、日常生活の行為が生活リハビリになるようサポートさせていただきます。

#### 生協10の基本ケアとは

- ①換気をする  
病気や心身機能低下にならない環境づくりをサポート
- ②床に足をつけて座る  
足を使った起居動作を習慣として身体づくりをサポート
- ③トイレに座る  
トイレで排泄を継続するのは尊厳の基本として排泄サポート
- ④あたたかい食事をする  
調理や盛り付けを行い親しい方と楽しい食事のサポート
- ⑤家庭浴に入る  
生活リハビリの効果から家庭浴の湯船につかる習慣をサポート
- ⑥座って会話をする  
座って時間を共に過ごし、ご本人のペースの安心感をサポート
- ⑦町内にお出かけをする  
地域に出かけ社会性や精神的な豊かさを持つことをサポート
- ⑧夢になれることをする  
好きなことに夢中になれる機会や居場所づくりをサポート
- ⑨ケア会議をする  
社会性ある豊かな暮らしを、ご本人やご家族と話し合うサポート
- ⑩ターミナルケアをする  
人生の最終段階までご本人らしく過ごすことをサポート

### ■ きらめき福祉会設立

鯖江市より社会福祉法人設立許可を受けて、2019年9月に「きらめき福祉会」を設立しました。2020年秋に特別養護老人ホームを備えた「きらめきの里」を新設する予定です。



### ■ VR認知症体験

県内3会場で、VR(バーチャルリアリティ)を活用した認知症の一人称体験会をシルバーウッドさんのご協力により開催しました。VR技術により、認知症の方の不安な気持ち、優しく接して頂いた時の嬉しさ・安心感他、いろんなことを自分事として体験することができました。



## 鯖江市 福井県民生活協同組合



自治体との包括連携協定に取り組んでいます。地域の活性化や市民サービスの向上を図ることを目的に、2019年10月には鯖江市とSDGsを柱とした包括連携協定を締結しました。



地域見守り・  
助け合い  
みんなが安心して暮らせる  
地域づくり

### ■ 地域見守り協定

宅配など業務を通じて地域の高齢者や障がい者、子どもなどの見守り活動に取り組んでいます。2018年7月永平寺町、2019年3月に池田町と協定を締結し、福井県内全市町と協定締結を結びました。

### ■ 子育て支援

#### 子育て支援 ハーツきっず

ご家族の皆さんが「自分らしく」「安心」して子育てできる環境づくりに取り組み、子育てひろば、一時預かり、2歳児を対象としたプレ保育、放課後児童健全育成事業(児童クラブ)を行っています。また、最近では乳幼児対象の「ななかまほいく」や0歳児対象の「BPプログラム」に取り組む支援の幅を広げています。

- ハーツきっず 6施設
- ハーツきっず 児童クラブ 3施設



#### コープの宅配 すくすく便

小学校就学前のお子さまがいらっしゃる組合員や妊娠中の組合員、すまいるFカードをお持ちの組合員は通常150円(税別)の個配手数料が50円(税別)になります。 ●登録人数 10,171人

#### ハーツ子育てママ応援デイ

小学校就学前のお子さまがいらっしゃる組合員や、妊娠中の組合員は毎週水曜日ポイント5倍になります。 ●ハーツ子育てママ登録件数 8,470人



### ■ はじめてばこの取り組み

福井に生まれた赤ちゃんの明るい未来を祝福しようと、福井テレビ子育て応援プロジェクトに協賛し、ふるさと福井をイメージしたプレゼントをお届けする「FUKUI HAPPY BABIES ～はじめてばこ～」の取り組みを2019年1月から行っています。福井県をイメージしてデザインされた『はじめてばこ』の中には、赤ちゃんのはじめての記念を写真で残すためのアルバムや、福井県のブランド米「いちほまれ」、コープの赤ちゃん用品などが詰められており、応募があったご家庭にお贈りしました。



- 2019年1月～2019年12月までの  
お届け数 3,514件

### ■ CO・OP共済

#### 「たすけあい」「あいぷらす」「ずっとあい」

相互の助け合い、暮らしの中の危険による損失を保障することを中心に、暮らしの向上に役立ち、豊かな社会づくりの貢献をめざしています。ハーツの共済カウンターは気軽に立ち寄り、落ち着いた相談できるカウンターとなっています。

#### ■ 共済実績

項目	18年度実績	19年度実績	前年比
共済保有件数	69,341件	68,634件	99.0%
共済加入率	22.5%	22.1%	98.2%

一生  
保障

手術・入院  
ケガ通院

我が家も  
サポート



2019年度は、より多くの方に共済加入いただきやすくするために、特定疾病加入制度(※)(高血圧・脂肪肝)に脂質異常症を加え、加入条件を緩和しました。また、加入申込書では「契約者印欄の廃止」を行い、加入時の負担を軽減しました。

※高血圧・脂肪肝・脂質異常症・高脂血症にて加入時の健康質問事項に該当しても、一定の条件を満たせばご加入できる制度





普段の買物や食事作りに困っている方のために、移動店舗「ハーツ便」、食事宅配、買物代行「ハーツのおつかいさん」で食品やお弁当をお届けします。



### 移動店舗「ハーツ便」

中山間地を中心に、買物に不自由をきたしている方の支援として定期巡回しています(刺身・お肉・惣菜・食品など約700品目積載)。高齢者の見守り、コミュニティの場づくりとしての役割も果たしています。移動店舗は全体で13台となり、県内各地のハーツを拠点に商品をお届けしています。

小型車は、おひとりでも利用いただけるようになっています。



	中型車	小型車	合計
ハーツ便2019年度未導入実績	10台	3台	13台



	18年度	19年度	前年比
ハーツ便拠点数	812箇所	748箇所	92.1%

### 買物代行「ハーツのおつかいさん」

“買物に行く時間や手段がない”との声にお応えする買物代行「ハーツのおつかいさん」。電話でご注文いただいた商品をハーツからお届けしています。



◀ご自宅までお届け

	18年度	19年度	前年比
おつかいさんのべ利用人数	5,889人	6,303人	107.0%

### お買物バス

高齢の方や車での来店が困難な方などに、ワゴン車を運行

買物に行きたいけど手段がない方をご自宅から最寄りのハーツまで、無料で送迎する「お買物バス」。ハーツ各店では、週1回(月～金)ご自宅からハーツまで決まった時間に無料で送迎しています。全ての店舗でお買物バスを運行しています。

	18年度	19年度	前年比
お買物バス台数	13台	12台	92.3%
お買物バス利用人数	29,757人	36,875人	123.9%



### 食事宅配「夕食宅配、介護食・医療食」

家庭的なバランスを考えた日替わりの食事をご自宅までお届けします。かむ力・飲み込む力が弱い方や食事制限が必要な方には介護食・医療食でお応えしています。



	18年度	19年度	前年比
夕食宅配弁当食数(週平均)	5,545食	5,860食	105.7%
介護・医療食食数(週平均)	2,301食	2,595食	112.8%

### 生協葬祭 みれい

真心・協心・安心

生協葬祭「みれい」は、ご利用される方にご満足いただけるよう、安心感の高いお世話をさせていただきます。

	18年度	19年度	前年比
みれいの会会員数	2,715人	2,751人	101.3%
葬儀年間施行件数	79件	88件	111.4%
葬祭事業シェア率	0.86%	0.93%	108.1%



▲説明会の様子



### ほのぼのハーツ(障がい者雇用)

障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するために

障がい者福祉サービス事業所(就労継続支援)として2012年7月に事業をスタートしました。

主に県民せいきょうの事業所(支所センター・ハーツ各店・生鮮加工センター・エコセンター)で、一般就労に近い環境の中、現在約100名の障がい者の皆さんが生協関係職員と一緒に仕事をしています。

事業所名	ふくい事業所	たんなん事業所	さかい事業所	嶺南事業所
定員	40人	20人	20人	20人
開始日	2012年5月1日	2014年7月1日	2015年1月1日	2016年1月1日

法人理念 「誰もが、安心してくらせる地域社会をめざします」



### きらめきくらしのサポート

あなたが…わたしが…  
「ちょっと困った、助けてほしい」という時にお互い助け合える、支え合える…  
そんな温かな心のふれあいを大切にしたい。



「きらめきくらしのサポート」は、くらしの中で困ったことがあれば、お互いに助け合って、安心できるくらしを守っていこうという発想から生まれた仕組みです。きらめきくらしのサポートでのサービスは専門的な介護や看護ではなく、お掃除や食事作り、病院の付き添い、産前産後のお手伝いなどのちょっとしたお困りごとを支援する有償の家事援助サービスです。くらしのサポートを通して地域に温かな助け合いの心と助け合いの輪を広げています。

	18年度	19年度	前年比
総活動時間	11,102h	11,637h	104.8%
活動回数	7,256回	7,377回	101.7%
のべ利用人数	1,667人	1,615人	96.9%

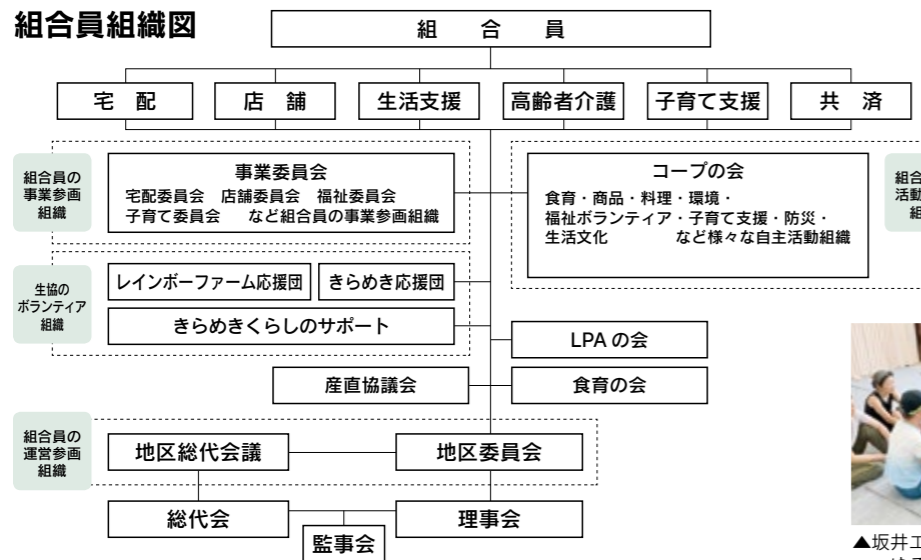


組合員同士が集まって取り組む商品学習や、食・環境・福祉などさまざまなテーマで行う活動を応援しています。地域やテーマに応じて地域のNPOや団体とも連携し、さまざまな活動が取り組まれています。

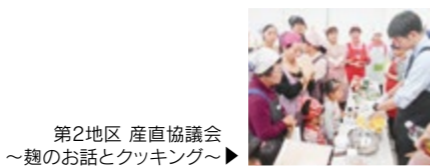


- ①一人では実現できない願いをみんなの活動で実現する活動(自主自発の活動)
- ②生協ファンを増やし生協の商品やサービスの良さを広げていく活動(事業を支える活動)
- ③地域の課題を地域の皆さまと一緒に解決していく活動(地域を支える活動)

## 組合員活動組織



LPAの会  
くらしの見直し学習会  
～ハーツきつず  
教育費のお話～



第2地区 産直協議会  
～麴のお話とクッキング～



福井福祉委員会  
～ふれあいお食事会～



▲さばえ店舗委員会  
～サラダコスモ商品試食会～



▲坂井エリア パブリカの会  
～ゆるほくし体操～



▲第3地区 ふれあいまつり  
～敦賀・若狭宅配委員会による  
縁日コーナー～

項目	18年度	19年度	前年比
運営参加人数	6,289人	6,430人	102.2%
活動参加人数	30,075人	22,270人	74.0%
コープの会数	31コープの会	31コープの会	100.0%

## 市民活動助成制度

県民せいきょうでは、食や環境・福祉・子育てなど、地域の課題に取り組むNPOや市民団体と連携して、より良い地域社会づくりに取り組んでいます。2006年から14年間で、のべ181団体に助成を行ってきました。2020年度は、社会貢献基金運営委員会による審議、理事会承認を経て、12団体に対して、総額80万円の助成を行いました。

活動拠点	団体名	活動分野	活動拠点	団体名	活動分野
福井	図書ボランティアの会	福祉・子育て支援	福井	一般社団法人 今ここ	福祉
福井	東安居ふれあいこどもサロン	子育て支援	越前	オラ!バモス!実行委員会	子育て支援
福井	セラビードッグ チームぶんぶん	福祉	敦賀	カラフル ～ふ登校カフェ～	子育て支援
福井	ママさんプラス ふくびよ隊	子育て支援	美浜	若狭・認知症リンクワーカー 樹の輪	福祉
福井	焼畑でそば作り交流会	その他の社会貢献活動	若狭	若狭町エコ・グリーンツーリズム推進協議会	食育
福井	女性のロングライフ支援ネット	その他の社会貢献活動	小浜	アトピーっ子 スクスクの会	子育て支援



福祉避難所設置運営に関する協定締結  
大野きらめきが、2020年3月に大野市と「災害発生時における福祉避難所設置運営に関する協定」を締結。現在5自治体7事業所で締結しています。



## 東日本大震災支援

### 被災地を支える

福島の子どもの保養活動を行う県内4つの団体(子ども110人)に食材を支援しました。

### 被災地の現状を知る～忘れない取り組み～

組合員と職員が被災地を訪れ、復興の現状を学習しました。

#### みやぎ親子 スタディツアー(8月)

石巻市で開催された「ふれあい喫茶」で住民の方との交流や旧大川小学校や名取市、「閉上の記憶」で語り部さんから震災当時のお話を聞きました。



#### 桜ライン311植樹ツアー(11月)

若手県陸前高田市の桜の植樹ボランティア活動に参加しました。



### ボランティア活動を支える

東北3県生協の仮設住宅で開催されたふれあいサロン・ふれあい喫茶活動に、福井のお菓子を贈りました(6月・12月・3月)。

### 防災・減災フェア

2018年より福井県労働者福祉協議会やこくみん共済CO・OP福井県本部とのネットワークで、防災・減災フェアを開催し、県民せいきょうでは新たな食料備蓄法(ローリングストック)の啓発活動に取り組みました。



▲2019年3月 福井駅前ハピテラスにて

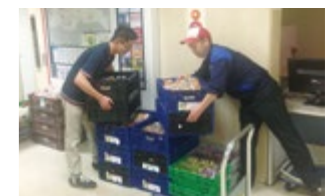
### 買って支える ～被災地の商品利用で復興支援～

宅配や店舗ハーツで開発商品「**Heart's** 若手・田老産真崎わかめ」の普及に取り組みました。



## 自治体との災害時物資協力協定

県内全17市町との協定を締結し、大震災など災害が発生した場合、物資提供に迅速に取り組みます。2020年4月、池田町と協定を締結し、全市町と協定を結びました。



## 台風15号・19号 水害支援活動

2019年、東日本を中心に発生した大規模な災害に対して日本生協連や被災地の生協と協力して、ボランティア活動や緊急募金活動に取り組みました。寄せられた約795万円の募金は、福井県共同募金会・日本生協連を通じて、被災地・被災者にお届けしました。



## 地球温暖化対策 エネルギー対策



県民せいきょうは、環境の取り組みを重要な社会的責任の一つとして位置づけ、組合員や地域社会の皆さんと共に、持続可能な循環型社会の実現をめざします。生協の事業活動を通じて「地球温暖化防止」「循環型社会の実現」「社会との調和」の取り組みを行い、豊かな暮らしと地球環境保全の実現をめざします。

### 温室効果ガス削減計画

2020年までの温暖化防止自主行動計画の次期計画として、2030年までに2013年対比40%の温室効果ガス削減することを目標に設定して取り組みを進めています。施設の省エネは、新規出店、改装時を中心に、またフロン対策に合わせて機器の入替えや導入を行っています。また、省エネだけでなく、電力会社の見直し(わかさ)や、再生可能エネルギーの開発研究などを進め、エネルギー削減に向けての取り組みを進めています。

CO <sub>2</sub> 排出量	実績			
	2013年度	2017年度	2018年度	2019年度
店舗CO <sub>2</sub> 排出量	6,710.4t	6,828.2t	7,559.8t	7,349.3t
宅配CO <sub>2</sub> 排出量	1,166.1t	882.8t	1,132.0t	1,029.6t
物流CO <sub>2</sub> 排出量	83.7t	91.8t	90.9t	91.4t
本部CO <sub>2</sub> 排出量	186.7t	181.5t	190.6t	185.0t
福祉CO <sub>2</sub> 排出量	1,045.5t	1,408.9t	1,144.0t	1,359.1t
合計CO <sub>2</sub> 排出量 (2013年度比)	9,192.5t 100.0%	9,393.2t 102.2%	10,117.3t 110.1%	10,014.4t 108.9%

### 太陽光発電システムの設置拡大

固定価格買取制度(FIT:Feed-in-Tariff)を活用し、自然エネルギー発電の普及を進めています。発電規模は16ヶ所で2,358kWとなりました。



生協グループの発電設備 (16ヶ所 2,358kW)		※2020年4月現在
・丸岡物流センター(坂井市) 350kW	・丸岡物流センター(増設) 100kW	・丸岡学園(福井市) 55kW
・本部センター(福井市) 30kW	・嶺北センター(福井市) 273kW	・ハーツ志比口(福井市) 55kW
・丹南センター(鯖江市) 55kW	・敦賀支所(敦賀市) 55kW	・ハーツさばえ(鯖江市) 55kW
・ハーツはるえ(坂井市) 55kW	・ハーツ羽水(福井市) 55kW	・ハーツたけふ(越前市) 55kW
		・ハーツつるが(敦賀市) 55kW
		・ハーツわかさ(小浜市) 55kW
		・第2生鮮加工センター(福井市) 55kW
		・その他(福井市) 1,000kW

### ハーツの省エネ対策

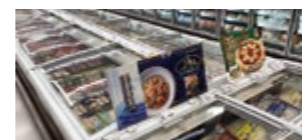
ハーツ全店でデマンドシステムやBEMS(ビルエネルギーマネジメントシステム)を導入し、省エネと省コストの実現を図りました。運用改善では、季節ごとの空調・ショーケースのこまめな設定変更や照明カット、ショーケースや室外機の清掃やナイトカバーの徹底による夜間電力の低減などを進めました。



リーチインショーケース



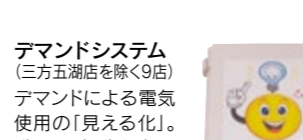
ベース照明LED  
ハーツ全店でベース照明のLED化を実現しました。



デュアルインショーケース



セラミックタイル  
光の反射により店内を明るく見せることができます。



デマンドシステム  
(三方五湖店を除く9店)  
デマンドによる電気使用の「見える化」。職員意識を高めています。



BEMS(ハーツはるえ)  
店舗のショーケースを自動管理するエネルギー管理システムBEMS。

## 3Rの推進 循環型社会の構築に向けて



### エコセンター

組合員や事業所から出る紙やプラ類を集約し、品質の高いリサイクルの一次加工を行う施設を2015年6月に設立しました。県民せいきょうグループ「一般社団法人ほのほのハーツ」で障がい者雇用を行い、就労支援の場づくりとしても位置づけています。



エコセンター外観



大型圧縮機では、1tの古紙の塊を作っていきます。異物などは職員の手で取り除きます。

福井県民生協で回収している資源とリサイクル品	
ダンボール	紙製品
新聞紙 新聞折込チラシ	新聞紙など
注文書(コープファミリー等)	注文書
飲料用紙パック	紙製品
個人仕分袋・注文書袋	プラスチック製品
ペットボトル	ペット素材の原料
卵パック	プラスチック製品
発泡トレイ	プラスチック製品
アルミ付紙パック エコキャップ	原料
小型家電	
天ぷら油(廃食油)	飼料や石けん

### 2019年度エコセンター回収実績

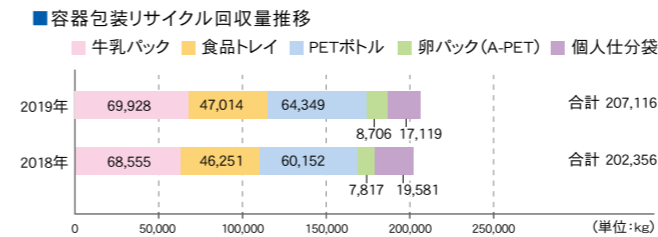
注文書	1,670,753kg
ダンボール	665,472kg
新聞紙	129,559kg
プラスチック類	91,197kg

### 容器包装リサイクル (ハーツ店頭回収・コープの宅配配達時回収)

地域の再生資源の回収拠点として県内小売の中でも最もたくさん容器包装を回収しています。



リサイクルBOX



### リサイクルステーション

「リサイクルステーション」では、家庭から出る古紙(新聞紙・チラシ・雑誌・その他雑紙)と廃食油(てんぷら油)を回収しています。集めた古紙は再生紙として、廃食油は飼料や肥料、石けんなどにリサイクルされます。

### 買物袋持参運動(リデュース)

2007年10月にハーツつるがで、福井県内の食品スーパーとして初めてレジ袋の有料化を実施し、2020年4月からはハーツわかさでも有料化を行い、全店に展開しました。2019年度は5団体・行政にレジ袋の収益金の寄付を行いました。

#### 持参率年次推移

	2018年	2019年	前年比
はるえ	92.6%	91.6%	98.9%
羽水	93.9%	93.4%	99.5%
学園	89.5%	89.7%	100.2%
志比口	91.9%	90.6%	98.6%
さばえ	93.4%	92.3%	98.8%
神中	89.5%	88.6%	99.0%
たけふ	93.4%	92.9%	99.5%
つるが	90.8%	91.2%	100.4%
三方五湖	90.4%	90.1%	99.7%
わかさ	35.9%	51.7%	144.0%
全店平均	86.1%	87.2%	101.3%

#### 2019年度寄付先

- 坂井市 ■敦賀市 ■エコプラザさばえ
- 福井市のくらしと環境をよくする会
- 小浜市消費者協議会

レジ袋の販売によって得た収益は、地域の環境団体への寄付と環境分野の組合員活動に活用しました。



### 食品ロス削減・食品リサイクルの取り組み

毎日発生する食品廃棄物を再利用するリサイクルループの取り組みを行っています。

#### ■堆肥化率

	2018年	2019年	前年比
はるえ	64.7%	70.1%	108.3%
羽水	87.0%	86.3%	99.2%
学園	82.3%	85.9%	104.4%
志比口	77.3%	77.3%	100.0%
さばえ	73.7%	73.5%	99.7%
神中	65.2%	71.1%	109.0%
つるが	79.6%	84.0%	105.5%
全店平均	75.7%	78.3%	103.4%



※たけふ、わかさ、三方五湖では、堆肥化リサイクルは行っていません。



#### 2019年度(2019年4月～2020年3月)

古紙	1,293,390kg回収
廃食油	16,710kg回収



働きやすい  
職場環境づくり  
仕事と家庭を両立しながら、  
職員がイキイキと働ける職場に



次世代育成支援対策推進法に則り、次世代育成支援や職員が働きやすい環境づくりに積極的に取り組み、職員がイキイキと働き続けることができる組織づくりをめざしていきます。



### 働きやすい職場環境づくり

- 仕事と家庭の両立支援制度では、独自の育児休暇制度として、ベビー休暇制度(男性の育児休暇)や、1日2時間以上短縮して働くことができる短時間勤務制度があります。また、企業内託児制度によって、育児と仕事の両立を支援しています。
- 心と体の健康維持・増進活動や、キャリア形成支援、多様な働き方に対応できる雇用フレーム(勤務エリアや職務範囲の制限)などの支援も行っています。
- 共済会り〜ふでは、職員の交流企画や各種助成制度、団体旅行などを行っています。



### イクボス宣言

職員のワークライフバランス実現に向けた具体的な取り組みを進めていくために、2019年3月に「イクボス宣言」を行いました。

#### イクボス宣言内容

- ①職員の働き方改革・生産性改革に取り組み、時間外労働の削減と有給休暇取得を推進
- ②「傾聴」「感謝」「褒める」「祝う」を通してチャレンジし続ける職場風土の構築
- ③挨拶・声かけを率先し、風通しの良い職場環境づくりと多様な働き方を認め合う職場づくり



### ワークライフバランス

仕事と家庭の両立や働きやすさ、仕事のやりがいなどを醸成する政策など計画化し、働きやすい環境整備として、所定外労働時間の削減・有給休暇取得推進などに取り組みました。

### 女性活躍推進法「えるぼし」に北陸初認定

2016年4月1日より施行されている女性活躍推進法に基づく認定(えるぼし認定)で「北陸初」となる最高位の認定を受けました。

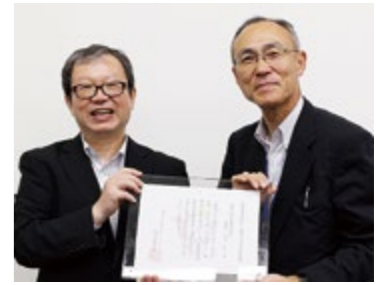


### 「福井働きたい企業5選」に選定

福井県立大学経営学科の学生が、学生の視点で県内の働きたい企業を調査、評価した「福井働きたい企業5選」の「女性活躍賞」として、女性管理職比率が全国平均より高く、育児と介護休業に独持制度のあることを理由に当生協が選ばれました。

### 県内2企業目 新基準になり初! プラチナくるみん認定企業に認定

「プラチナくるみん」認定は、くるみん認定を受けた企業のうち、より高い水準の取り組みを行った企業を受けることができる認定です。2017年、新基準となってから初のプラチナくるみん認定企業として認定されました。また当生協は、えるぼし認定も受けており、プラチナくるみん認定とえるぼし認定三段階目の2つの認定を取得した企業は北陸では初となります。



	18年度	19年度	前年比
まなぶ座開催数	12回	13回	108.3%
まなぶ座参加人数	201人	172人	85.6%

	18年度	19年度	前年比
女性管理職比率	15.4%	17.2%	111.7%
女性管理・監督職比率	46.8%	48.4%	103.4%
有給取得率(全体)	64.5%	74.6%	115.7%

### 職員満足度調査

毎年1回、組織に対する信頼や各施策に対する理解、満足度を把握するために全職員に対し、「職員満足度調査」を実施しています。職員満足度の調査結果や職員の声から満足要因や不満足要因を分析し、翌年度の施策につなげています。

### コアパーソン

理念やビジョンに共感し、仕事にやりがいを持ってイキイキと働く職員を「コアパーソン」と位置づけ、組合員・利用者にしっかりと向き合うことができる職員育成と、それを支える土壌づくり(組織風土)を進めました。

●コアパーソン比率 56.9% (前年差+5.3%)

### 有給取得率

有給休暇については、全職員個別に年間7日間の取得計画を年度初めに立て、計画的な取得を行っています。

2019年度の有給取得率は、全体で74.6%(一人あたり平均取得日数は12.2日)、R・L(正規)職員では55.6%(一人あたり平均取得日数9.8日)となっています。2019年度は対象職員全員が法定基準5日を上回る7日以上の有給を取得しました。

■2019年度実績

雇用区分	有給取得率	一人あたり平均取得日数
R・L職員【正規職員】	55.6%	9.8日
P・E職員【非正規職員】	82.9%	13.2日
全体	74.6%	12.2日

### り〜ふ共済会

り〜ふ(共済会)は職員の相互扶助の精神に基づいて作られた福利厚生のための組織です。健康診断補助などの健康・医療事業、不測の事態が発生した場合の見舞金の支給を行っています。さらに、職員交流のための団体旅行や年賀会企画、職場内交流援助等を行っています。

### 離職率

職員の離職防止対策として、職場での上司や先輩職員がトレーナーとなり教育を進めるOJTを用い、必要な知識や能力・技術を教育するとともに、計画的にコミュニケーションをはかり仕事に対する不安や悩みの解消に繋がっています。また、各職場に所属長以外の相談窓口として、一般職の中から「労務相談員」を選出し相談しやすい環境整備を行っています。

■2019年度実績

雇用区分	離職率
R・L職員【正規職員】	7.1%
P職員【非正規職員】	13.5%
全体	11.7%

■離職率

$$\frac{\text{離職者数} - \text{一定年退職者数}}{\text{年度末人数} + \text{離職者数}} \times 100$$



### 安全運転の取り組み

社会的責任のひとつとして、安全運転をリスクマネジメントに設定し、組合員や地域の模範となるような運転を目指しています。2019年度からは、地域のこども園などからの依頼を受けて、「CO・OP子ども安全運転スクール」を開催。未就学児を対象に、横断歩道の渡り方や死角についてなど、体験型の学びの場を提供しました。





組合員の笑顔やありがとうの言葉に喜びを感じながら、考え、学び、行動できる人財を育てていくために、学び育む教育制度や、傾聴、感謝、褒める、祝うといった組織風土づくりを積極的に進めています。



## ■ 学び育む教育制度

入社後はOJT活動や必須教育、業態別専門教育、階層別教育を基本に、職員一人ひとりに応じた育成教育を行っています。さらに、職員の「学びたい」ニーズに応えるために通信教育受講者や資格取得者、講座受講者に対し助成金支援を行う自己啓発制度も設けています。

## ■ 創発と共創を促す組織風土

- 褒め認め合う組織づくり  
・マスター制度・各種表彰制度・アイデア提案制度・仕事品質向上活動
- 役員懇談会の実施
- 職員ニーズの把握  
・自己申告書・職員満足度調査

## ■ 経営品質の取り組み、アイデア提案制度、仕事品質向上活動

### 職員による改善

〈アイデア提案制度 ～小さな気づきからの改善と仕事品質の向上～〉

職員の気づきから仕事の品質向上につなげ、組合員満足度の向上につなげる提案制度で、年間約3千件の提案があります。毎月管理職会議で効果のあった提案について投票し、「グッドアイデア月間MVP」を決定しています。生協内で表彰し、MVPニュースで共有しています。他の事業所でも好事例を活用できないか話し合い、一人の職員のアイデアを全体へつなげる取り組みを行っています。

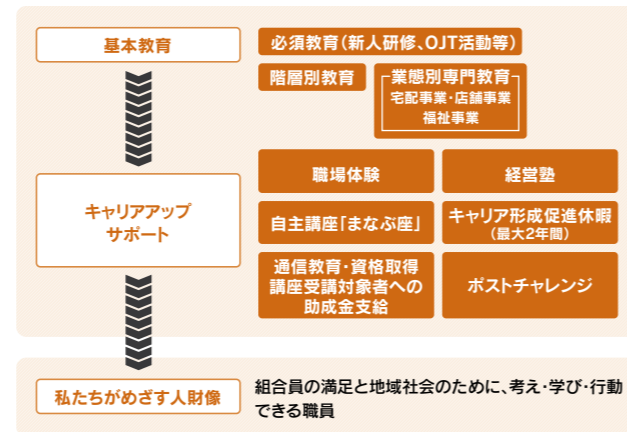
〈仕事品質向上活動 ～チームで進めるお役立ち価値・仕事品質の向上～〉

仕事品質の向上を図り、組合員利用者の満足度向上へつなげることを目的に、事業所やチーム単位で課題や「あるべき姿」について話し合い、テーマを設定、改善に取り組んでいます。2019年度は133チームが取り組み、15チームが表彰されました。

## 仕事品質向上活動発表会 金賞

- 宅配:敦賀支所 なつちゃん  
「電話対応における業務負担を軽減し、総務業務の効率を上げよう」  
店舗:ハーツわかさ ハーツわかさサービス  
「2020年までにマイバック持参率を80%になるように目指す!!」  
福祉:岡保きらめき GH②  
「ポケットとして、あほになってまうわ」  
子育て:日之出児童クラブ ハーツきつず日之出児童クラブ  
「子ども達の主体性を高める働きかけをし、達成感を感じてもらおう!」  
本部:コールセンター コールセンター三木チーム  
「様々な情報を見やすく整理し、組合員様に正確な情報を素早くお伝えしよう!」

## 学び育む教育制度



	18年度	19年度	前年比
業務改善好事例表彰数	15件	15件	93.8%
業務改善参画度	34%	49.3%	107.5%
アイデア提案件数	4,699件	3,205件	89.3%
職員満足度調査結果(総合満足)	39.1%	44.6%	108.6%
コアパーソン比率	51.7%	56.9%	104.4%
仕事品質向上活動取り組みチーム数	127件	133件	95.5%



新型コロナウイルス感染症の影響で、在宅勤務やオンライン会議など、これまでの働き方の見直しに迫られるようになりました。新型コロナ対応では、事務所での対策のほか、地域と連携した取り組みも進めました。



## ■ インターネットを活用したオンライン会議の促進

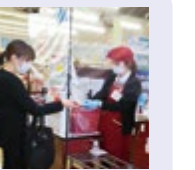
3密を避けるために、集合体の会議を見直し、会場を分割してのオンライン会議を実施しました。理事会や地域理事協議会といった機関会議のほか、業革会議、店長会議など、事務局会議もオンライン会議を進めました。移動の時間削減にもつながり、一定の効果を示しました。

## ■ テレワーク(在宅勤務)の実施

事務所内での感染のリスクを減らすために、出勤する職員の数減らし、在宅での勤務を推進しました。在宅での勤務を進めるために、リモートワークが可能なパソコンを設定し、自宅と職場と同じ環境で業務ができるようになりました。また、在宅での勤怠管理の仕組みを導入し、職員が安心して働ける環境をつくりました。

## ■ 新型コロナウイルス感染症への対応

未曾有の感染症災害となった新型コロナウイルスへの対応として、マスクの着用、アルコール消毒の実施、手袋の着用、配達時の不在置きへの対応や、店舗では、レジ待ちでの、足跡設置による社会的距離確保、飛沫感染防止として全レジとサービスコーナーに面遮断ビニールの設置、グループホームでのテレビ電話面会など、組合員と職員の安全確保を目的に、様々な取り組みを行いました。また、クライシスマネジメントにもとづき、一部事業の停止や縮小、組合員活動の活動中止などの判断を行いました。



### 子どもたちへ「休校支援弁当」配達

学校休校で自宅にいる子どもたちに栄養バランスの取れた食事を提供することと、親御さんの昼食の負担を減らすために、「休校支援弁当」の特別配達を行いました。



### 福井県に、非接触型体温計1000本を寄付

福井県がマスクや体温計、消毒用エタノールなどの医療物資の寄付を求めていることから、非接触型体温計を贈呈しました。贈呈した体温計は、学校などで使われます。子どもたちが安心して学校に通えるように、有意義に使っていただきたいです。



### コロナ対応激励金

新型コロナウイルス感染症の中、現場職員が最前線で、県民の様々な要望や声に出来る限りの対応を行い、県民の食とくらしを守ってきました。特に現場で日常多くの県民の方と接し、対応を行っている職員の奮闘に応えるために、「コロナ対応激励金」を職員に支給しました。

地域とのつながりを大切に  
安全・安心な地域づくりを応援  
地域へのお役立ち



県民せいきょうでは地域、組合員の社会的課題に対して、事業や活動を通じて、自治体や地域団体と連携して、地域に役立ち、感謝される組織をめざします。

項目	18年度	19年度	前年比
地域団体・行政とのネットワーク数	273件	286件	104.8%



生活困窮者のためのフードバンク・フードドライブ食料支援・子ども食堂への食材支援

2014年よりハーツのカップ麺や缶詰、レトルト食品、お米など日持ちする食品を、年3回寄付して、社会福祉協議会や自立支援センターを通じて生活困窮者や児童養護施設に提供しています(フードバンク)。2016年からは、子ども食堂に取り組む団体への食材提供も行っています。2019年にはハーツ10店舗と介護施設きらめき2ヶ所においてフードドライブ(家庭で余っている食品を集めて寄付する)に取り組み、福祉施設や子ども食堂に提供しました。フードドライブは食品廃棄ロスの削減にもつながる取り組みです。

項目	回数	数量	金額
フードバンク	3回	6,847点	1,116,916円
フードドライブ	2回	4,210点	—
子ども食堂(5団体)	54回	4,631点	1,542,713円

※上記の他、ハーツや産直生産者から直接子ども食堂に食材提供している事例もあります。



職場体験・視察・講師派遣等

ハーツやきらめき、ハーツきっずなどでの職場体験や視察の受入れ、講師派遣など地域や全国からの要請を受けてお役立ちに取り組んでいます。



	2018年		2019年	
	回数	人数	回数	人数
学校	28回	514人	66回	951人
生協	29回	151人	28回	231人
行政	14回	219人	21回	477人
団体・企業	14回	119人	43回	1,073人
その他	4回	5人	0回	0人
合計	89回	1,008人	158回	2,732人

子ども育成支援

2016年度より次代を担う子ども達の健全育成や情操教育の支援活動として、地元サッカーチーム「福井ユニテッドFCと遊ぼう」の企画(県内6会場)や県幼児画コンクール(3歳・4歳・5歳児)に協賛しています。



生協ボランティアセンターの設置

2017年10月よりレインボーファーム応援団やきらめき応援団など生協が推進するボランティアの窓口を一元化しました。また、アクティブシニア層のボランティア活動参加促進のきっかけづくりとして男のシニア達人塾を開催しました。



福井県内自治体別 各種協定締結一覧

協定		あわら市	坂井市	勝山市	大野市	福井市	永平寺町	鯖江市	越前市	越前町	池田町	南越前町	敦賀市	小浜市	美浜町	若狹町	おおい町	高浜町	締結数	福井県
災害物資協力協定	協定の有無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9市8町	○
災害発生時福祉避難所設置運営協定	対象事業所	—	—	—	大野 きらめき	宝永きらめき 江守きらめき 岡保きらめき	—	鯖江 きらめき	丹南 きらめき	—	—	—	敦賀 きらめき	—	—	—	—	—	5自治体 7事業所	
地域見守り活動協定	協定の有無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9市8町	
包括協定	協定の有無							○				○							1市1町	
レジ袋削減協定	協定の有無		○			○		○	○				○	○					6市	○

地域の自治体関係団体への主な委員一覧

	機関名	役職名	
食育・農業	ふくいの食育・地産地消推進県民会議	委員	
	厳選・ふくいの味認証委員会	委員	
	福井県農林水産業活動化支援研究強化会議	外部評価委員	
	福井県特定鳥獣保護管理計画(いのしし・サル)検討委員会	委員	
	福井市食育推進会議	委員	
	鯖江市食育基本計画策定委員会	委員	
	元気さばえ食育推進会議	委員	
	有機農産物安定供給体制構築事業協議会(小浜市農林水産課)	委員	
	福井県社会福祉協議会	評議員	
	福井県小規模多機能居宅介護支援事業所連絡協議会	事務局長	
福祉介護	大野市 結の心つながる支え合いの地域づくり推進会議	委員	
	福井市介護予防・生活支援サービス検討会議	委員	
	越前市介護予防・生活支援サービス検討会議	委員	
	越前町介護予防・生活支援サービス検討会議	委員	
	鯖江市介護予防・日常生活支援推進協議会	委員	
	鯖江市在宅医療・介護連携推進協議会	委員	
	敦賀市介護予防・日常生活支援総合事業推進協議会	委員	
	美浜町介護予防・日常生活支援総合事業推進協議会	委員	
	小浜市介護予防・日常生活支援総合事業推進協議会	委員	
	敦賀市介護認定審査会	委員	
	大関まちづくり協議会	いきいきフレンドリー部会委員	
	福井県地域包括・在宅介護支援センター協議会	理事	
	越前市介護保険運営協議会	委員	
	全国地域包括ケアシステム連絡会	理事	
	一般社団法人 福井県介護福祉士会	理事	
	環境	環境ふくい推進協議会	企画委員長
		福井市環境推進会議	委員
福井市くらしと環境をよくする会		企画委員、監事	
福井市廃棄物減量推進会議		委員	
鯖江市ごみ問題懇話会		委員	
鯖江市環境まちづくり委員会		委員	
つるが環境みらいネットワーク		委員	
ボランティア	福井県災害ボランティアセンター連絡会	委員	
	福井県ボランティアセンター運営委員会	運営委員	
	福井県企業等ボランティア・社会貢献連絡会	運営委員	
労働	福井公共職業安定所	公正採用選考人権啓発推進員	
	福井県労働者福祉協議会	幹事	
	公益財団法人 福井県労働者福祉基金協会	理事、評議員	
男女共同参画	一般財団法人 福井県労働者信用基金協会	評議員	
	福井市男女共同参画ネットワーク	委員	
	さばえ男女共同参画ネットワーク	委員	
	つるが男女共同参画ネットワーク	副会長	
	敦賀市男女共同参画策定委員会	委員	
経営	小浜男女共同参画ネットワーク	理事	
	福井経済同友会	幹事	
	福井商工会議所	議員	
その他	一般社団法人 福井県経営品質協議会	副会長	
	福井市子ども・子育て審議会	委員	
	坂井市子ども・子育て連絡会議委員会	委員	
	青少年健全育成敦賀市民会議	委員	
福井県協同組合連絡会	構成員		